

# 品川支部

令和三年4月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel. 3442-7075

## 4月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 「天理時報」がタブロイド判に新しくなりました 併せて電子版も開設いたします

新たに『天理時報』は、タブロイド判でのお届けになりました。ようぼく向けに紙面内容を一層充実させるとともに、スマホ・タブレットでも手軽にお読みいただけます様「電子版」を購読者に限り無料提供されます。ネット化が進む社会状況に合わせ紙面とウェブコンテンツとの連動企画を行い、併せて新たに教内情報をウェブ上での一元化をすすめる“陽気ぐらしの情報”を多角的に発信することが出来るようになるとの事です。これで電車内でも新聞を広げずとも読めますね。

## 新型コロナウイルスもいよいよ ワクチン接種開始

一年を超えた新型コロナウイルスも各地でワクチンの接種が始まりました。お助けでも、よそのお家へなかなか訪問できない日々が続いていましたが、まだ時間はかかるとはいえ一つの明るさが出て参りました。

改めて大変な中勤めて頂いている病院関係の皆様には感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。我々も一年以上のブランクを少しずつ回復し、又人様に喜んでいただけるおたすけ・ひのきしんに精を出しましょう



いこいの家の風景

## ☆支部行事のお知らせ

二十九日全教一斉ひのきしんデー  
品川支部は規模を縮小して開催予定  
詳細は二頁掲載

・支部例会四月は二十九日のひのきしんデーで例  
会は有りません(代わりの幹事会は相談項目が  
あれば行いますが後日連絡いたします)

幹事会は九日で会場は  
豊英分教会です

神名流し

・在宅センターひのきしん  
今月はまだ中止です

・教区ひのきしん  
担当は本大崎組です。  
今の時点では行う予定ですが確認願います

## ☆教務支庁からのお知らせ

・教区創立記念日  
今回は事前に、参加申し込みをされた教会長  
又は、奥様のみの参加となります  
・基礎講座東京会場十四日分は中止です

## ・教区記念祭詳細

立教百八十四年四月四日  
午前十時より祭典執行  
受付は八時四十五分開始

祭典は規模を縮小して  
お勤めは三交代で行います

記念講演  
表統領 中田善亮

記念講演終了後弁当を配布して解散  
となります。  
終了予定は一時半頃になります

当日は参加登録した会長のみになります  
ますが、車は支部で二台指定車のみで  
す

## ・天理時報手配りについて

手配り再開にしましては、各地域  
の差が大きく、それぞれの支部の都合  
に合わせる形となります。  
当該支部から、再開の日程を道友社  
に申請して初めて再開となるとの事  
です。品川支部では状況を幹事会  
で把握して、安心が共有できる状態に  
なつてから責任者から申請していくと  
いう手順で行います。  
又、手配りして頂いております方の人  
数が転出等で足りなくなつて参りまし  
たので、新たに協力頂ける方を募集し  
ております。

## 時報手配り四月予定

四月号からタブロイド判(半分)の  
サイズにリニューアルします。  
手配りは、コロナ禍でもう少しお休  
みです、再開時は宜しく願います

拠点教会	4日号	11日号	18日号	25日号
日本橋	直送	18日と合併	直送	直送
本荏	直送	18日と合併	直送	直送
南泰	直送	18日と合併	直送	直送
三ツ木	直送	18日と合併	直送	直送
水豊田	直送	18日と合併	直送	直送

# 全教一斉ひのきしんデー

## 日にち 4月29日 (祝日)

## 場所 海浜公園

## 時間 十時から十一時迄

時間を短縮して行います

### コロナ禍中でのひのきしんなので万全を期して行いますが参加は自由です

### 十時 事前に個人用消毒スプレー配布 掃き掃除、ごみ拾いを主に行います 十一時半 おにぎりを配布して終了です

### 尚、状況により変更も予想できますので 次号支部報五月号 (4月25日までに配布予定) で最終予定をお知らせいたします

ちよとはなし  
枝葉に肥はやらない



櫻京分教会長  
辰巳源一

英太君(仮名)は成績優秀。両親は高学歴で、教育者です。その英太君が中学生になってから、「おなか痛い、頭が痛い」と言って登校しなくなり、登校拒否です。

わが子が登校拒否とわかった時「恥ずかしくて外も歩けなかった。毎朝、今日は行ってくれるかと祈るような気持ちで子供を見るようになり、つい声をあげて、時には、「この子さえないなければと思っただ」と言います。両親にすれば、子供の成績優秀は当然で、人様の前で成績が悪かったり、勉強しない子を見ると、

それは親が怠慢だからだ、と思われていたようです。

お母さんは「直接の原因は友だちからのいじめです。学校やその子の親に抗議しようと思いましたが」と教会に相談されましたが、「こちらにも原因がある、と悟ったら？」との話に納得され、プライドを捨て、英太君の姿を見てたんのうして通る心を定めました。成るとどうでしょう。成績に關係のない遠足や球技大会などには登校するようになりました。専門家の話によりまず、「問題のある子供さんの場合、母親まかせの家庭が多い」

「男子の場合は、特に父親の理性的な判断が解決の糸口だ」ということです。

そこで、信仰に無関心な父親にも参拝していただくに相談することになりました。「人間は一本の木です。親は根で子は枝葉といわれ、枯れます。枝葉に肥料をやりましよう。根はあなたのお父さん、お母さんです。枝葉は英太君です」

さすが教育者です。この一言で父親は全てを理解されました。「根に肥料をやること、つまり親孝行ということですね」

この英太君のお父さんは長男で、両親の反対の中、結婚。今では交流がない状態でした。さっそく奥さんは、主人のご両親に心から不義理をわびました。

旬が満ちていたのでしょう。親はたいへん喜ばれ、二十年にして結婚が認められ、「おまえたちの世話になる」ということになりました。そして納得の上で、思い切り真実をおちげに伏せ込まれました。後日、「今までのお供えは、たすけてほしい一心でしたので」と退職時、大きな喜びを伏せ込まれました。